

平成18年度 決算報告書

国立大学法人広島大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	28,303	29,460	1,157	(注1)
施設整備費補助金	1,962	1,966	4	(注2)
船舶建造費補助金	1,176	1,176	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	0	0	0	
補助金等収入	175	225	50	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	90	90	0	
自己収入	26,437	27,660	1,223	
授業料、入学金及び検定料収入	9,083	9,030	△ 53	(注4)
附属病院収入	17,060	18,244	1,184	(注5)
財産処分収入	0	16	16	(注6)
雑収入	294	370	76	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,690	4,399	709	(注8)
長期借入金	0	0	0	
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	1	1	(注9)
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	0	1,073	1,073	(注10)
計	61,833	66,050	4,217	
支出				
業務費	45,660	45,533	△ 127	(注11)
教育研究経費	30,564	28,642	△ 1,922	
診療経費	15,096	16,891	1,795	
一般管理費	6,905	6,718	△ 187	(注12)
施設整備費	2,052	2,056	4	(注2)
船舶建造費	1,176	1,176	0	
補助金等	175	225	50	(注3)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,690	4,269	579	(注8)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	2,175	2,175	0	
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	61,833	62,152	319	
収入-支出	0	3,898	3,898	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金の予算額には前年度よりの繰越金のうち使用予定額304百万円及び決算額には前年度よりの繰越金1,461百万円を含んでおります。

(注2) 施設整備補助金については、平成18年度補正予算により補助金が交付されたため、予算額に比して決算額が4,391,175円多額となっております。

(注3) 予算段階では予定していなかった補助金への応募申請に努めたため、予算額に比して決算額が50,803,716円多額となっております。

(注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、学士課程及び博士課程後期の授業料収入が減少したこと、博士課程前期の入学金収入が増加したこと、検定料収入が予定より増加したことにより、予算額に比して決算額が52,726,970円少額となっております。

(注5) 附属病院収入については、病床稼働率の向上に努めたこと等により、予算額に比して決算額が1,184,123,129円多額となっております。

(注6) 予算段階では予定していなかった実習船新造に伴う旧実習船を処分したため、予算額に比して決算額が15,855,000円多額となっております。

(注7) 雑収入については、主として政府短期証券及び譲渡性預金による短期運用による利息収入及び特許権等収入により、予算額に比して決算額が75,811,462円多額となっております。

(注8) 予算段階では予定していなかった国(の各組織、特殊法人及び民間)からの受託研究の獲得に努めたため、予算額に比して708,723,630円決算額が多額となっております。

(注9) 予算段階では予定していなかった和解が成立し、和解金を支出したため、予算額に比して500,000円決算額が多額となっております。

(注10) 予算段階では予定していなかった取り崩しを行ったため、予算額に比して1,072,699,569円決算額が多額となっております。

(注11) 業務費については、退職給付が予定より少なかったこと、及び手術件数の増等による診療費用増により、予算額に比して決算額が127,085,995円少額となっております。

(注12) 一般管理費については、効率的な執行及び経費の節減に努めたこと、並びに退職給付が予定より少なかったため、予算額に比して決算額が187,600,723円少額となっております。